

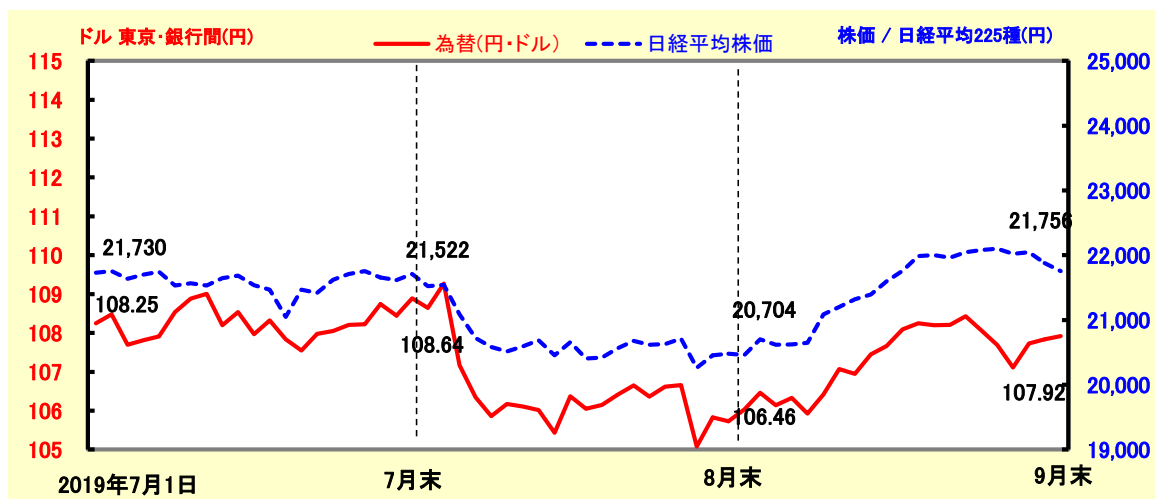
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 2019年7月～9月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

2019年7～9月期の業況/2019年10～12月期の業況予想

今回の調査実施時期

2019年9月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所214先)

調査先業種内訳

製造業	32先	小売業	60先
卸売業	25先	サービス業	58先
建設業	22先	不動産業	17先

調査方法

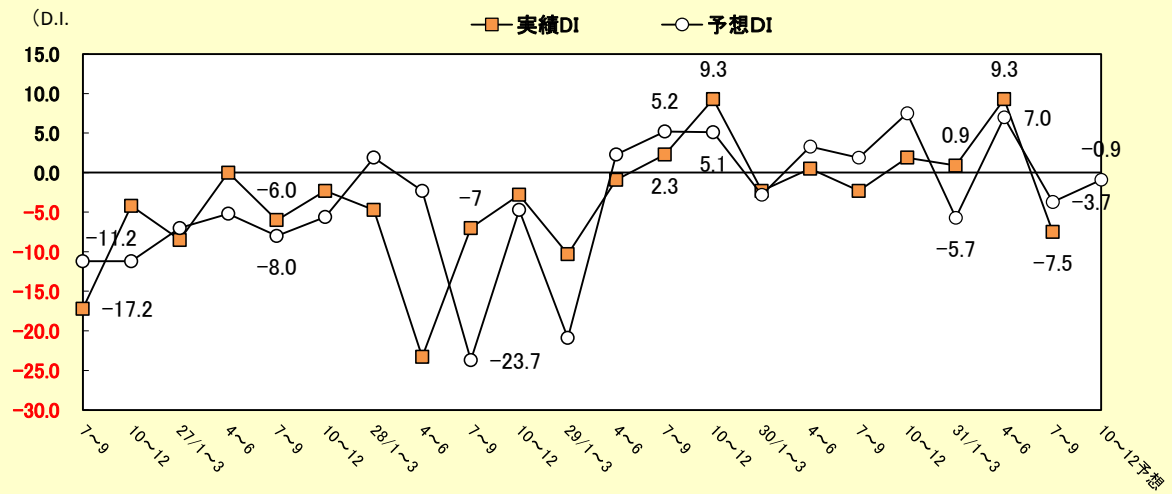
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



表の見方

業種別天気図



		7~9月期実績				10~12月期予想			
		総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総 合	合								
		▲7.5	▲16.7	▲2.4	2.6	▲0.9	▲10.1	8.3	0.0
製 造 業	業								
		▲19.3	▲43.7	0.0	10.0	0.0	▲6.6	▲20.0	20.0
小 売 業	業								
		▲13.5	▲12.0	▲15.3	▲12.5	▲16.9	▲24.0	▲7.6	▲25.0
卸 売 業	業								
		0.0	0.0	▲10.0	20.0	▲16.6	▲22.2	▲10.0	▲20.0
サ ー ビ ス 業	業								
		▲13.3	▲28.5	0.0	0.0	5.0	▲10.7	17.8	25.0
建 設 業	業								
		18.1	60.0	22.2	▲12.5	27.2	40.0	44.4	0.0
不 動 産 業	業								
		11.7	0.0	16.6	25.0	17.6	14.2	33.3	0.0

7月～9月の県内経済概況

7月～9月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは▲7.5となり、前期比16.9ポイント下降となっています。

業種別の状況を見ると、製造業は▲19.3となり、前期比28.9ポイント下降、小売業は▲13.5となり、前期比10.2ポイント下降、卸売業は0.0となり、前期と同水準、サービス業は▲13.3となり、前期比28.5ポイント下降、建設業は18.1となり、前期と同水準、不動産業は11.7となり、前期比23.5ポイント下降となっています。

地域別では、別府地区が▲16.7となり、前期比29.8ポイント下降、大分地区が▲2.4となり、前期比8.3ポイント下降、県北地区が2.6となり、前期比5.1ポイント下降となっています。

業 種 別 景 況

製 造 業

● 当期(7月～9月)の景況

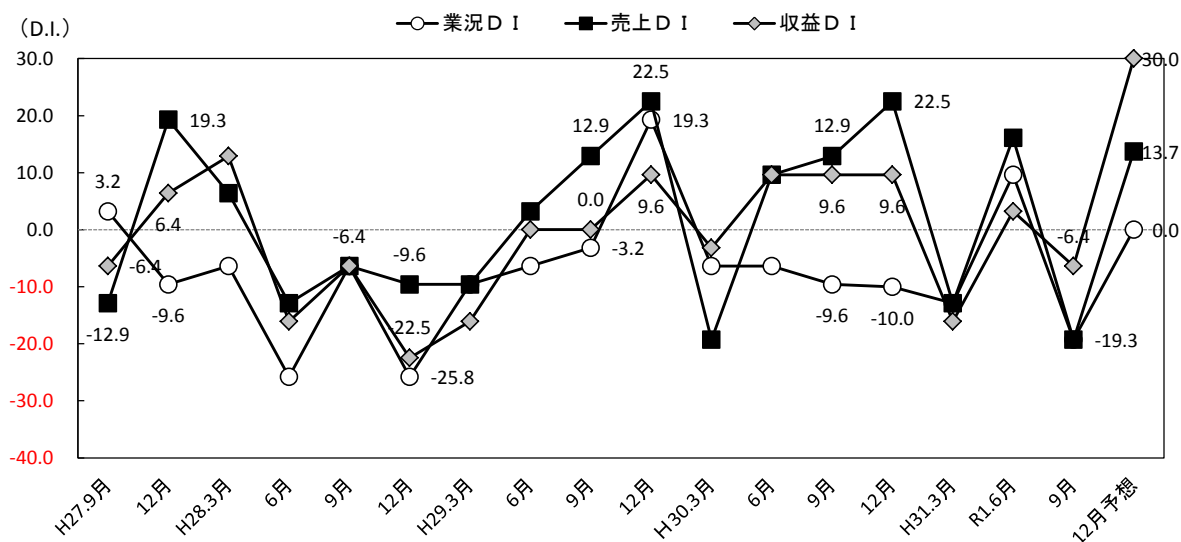
全域における業況DIは▲19.3となり、前期比28.9ポイント下降、前年同期比9.7ポイント下降となっています。売上DIは▲19.3となり、前期比35.4ポイント下降、前年同期比32.2ポイント下降となっています。収益DIは▲6.4となり、前期比9.6ポイント下降、前年同期比16.0ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲43.7となり、前期比43.7ポイント下降、前年同期比31.2ポイント下降、大分地区が0.0となり、前期比20.0ポイント下降、前年同期比20.0ポイント上昇、県北地区が10.0となり、前期比10.0ポイント下降、前年同期比10.0ポイント上昇となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは0.0となり、今期比19.3ポイント上昇となっています。売上予想DIは13.7となり、今期比33.0ポイント上昇となっています。収益予想DIは30.0となり、今期比36.4ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲6.6、大分地区が▲20.0、県北地区が20.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	12.6%
売上停滞・減少	17.4%
同業者間の競争激化	11.1%
原材料高	9.5%
工場・機械の狭小・老朽化	11.1%

最重要経営施策

経費節減	23.7%
販路拡大	23.7%
人材確保	15.2%
情報力強化	8.4%
特になし	6.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- 受注は増加傾向にある。(自動車部品製造業)
- 洋菓子の製造販売を行っていたが競合店の出店やコンビニ商品の台頭により、売り上げは減少傾向にあった。後継者問題についても目途がたたず令和1年8月末をもって廃業した。(食料品製造業)
- 竹の加工に天候が影響しており、竹製品の販売ができず売上が減少する可能性がある。(竹製品)
- 同業者との競合や創業者(代表)の高齢化に伴う後継者不足等により厳しい状況が続いている。商品の選別や経費削減による業況改善に取り組んでいる。(和菓子パン製造販売)
- 取引先のホテルがバイキング形式となり自店舗の商品の利用がなくなるため売上減少する。(豆腐・油揚)

小 売 業

● 当期(7月～9月)の景況

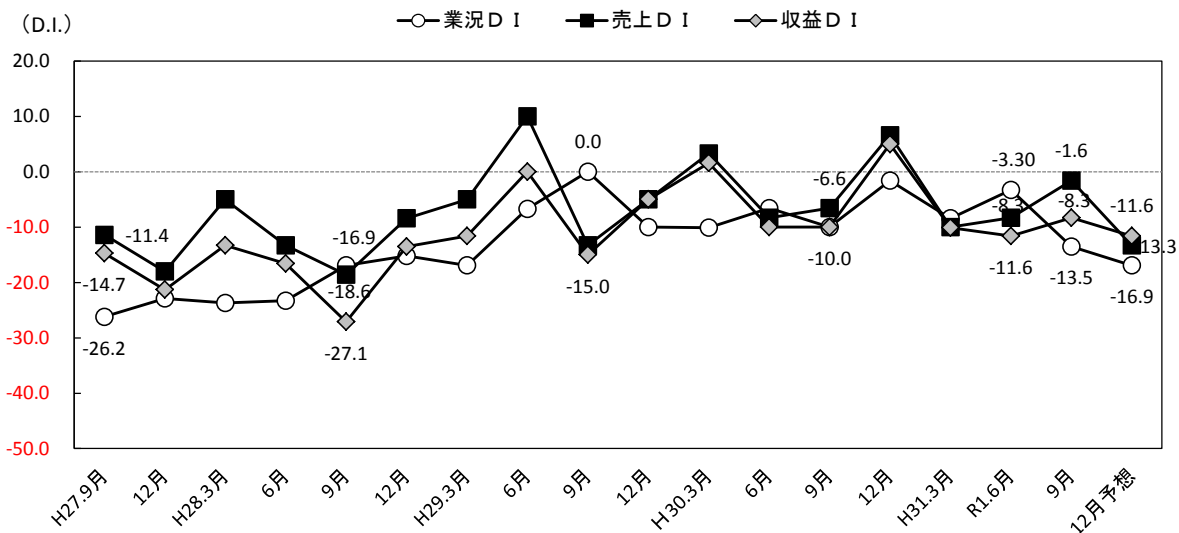
全域における業況DIは▲13.5となり、前期比10.2ポイント下降、前年同期比3.5ポイント下降となっています。売上DIは▲1.6となり、前期比6.7ポイント上昇、前年同期比5.0ポイント上昇となっています。収益DIは▲8.3となり、前期比3.3ポイント上昇、前年同期比1.7ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲12.0となり、前期比12.0ポイント下降、前年同期比4.4ポイント下降、大分地区が▲15.3となり、前期比3.8ポイント下降、前年同期比7.7ポイント下降、県北地区が▲12.5となり、前期比25.0ポイント下降、前年同期比12.5ポイント上昇となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲16.9となり、今期比3.4ポイント下降となっています。売上予想DIは▲13.3となり、今期比11.7ポイント下降となっています。収益予想DIは▲11.6となり、今期比3.3ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲24.0、大分地区が▲7.6、県北地区が▲25.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	20.9%
同業者間の競争激化	9.3%
大型店競争激化	12.4%
取引先減少	7.7%
人手不足	7.7%

最重要経営施策

経費節減	63.1%
売筋商品取扱	36.8%
宣伝・広告強化	31.5%
品揃え改善	52.6%
人材確保	15.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- 猛暑日が続いているため売上は増加している。会社を息子に代変わりしようとしているが、業務多忙でなかなか進まない。(家電製品)
- 度重なる台風や雨天により、茶葉の質が落ちており売り上げがやや減少している。軽減税率の対策にも悩んでいる。(茶屋)
- 近隣の大型商業施設や全国チェーン展開の洋菓子店と競合しており、いっそうの顧客の囲い込みが必要になってきている。(洋菓子)
- 地元住民から根強い支持を得ており業況は堅調に推移している。(食料品)
- 自動車販売は安定している。(自動車販売)
- バイク人口の減少等から今後の売上減少が懸念される。今後は、品ぞろえの改善、経費節減に努める。(オートバイ・2輪)
- 販売先を増やし売り上げを上げる必要がある。(花)
- 消費税増税に伴うレジの改修は完了。増税後の売り上げへの影響が心配。(食料品・弁当販売)
- 8月は特に売り上げが悪かった。気候の変動が激しいことから仕入れのタイミングが難しい。(衣料品)
- 増税前の駆け込みに対応し、9月は売り上げを伸ばしたい。その後はたいして影響はない予想。(自動車整備)

卸 売 業

● 当期(7月～9月)の景況

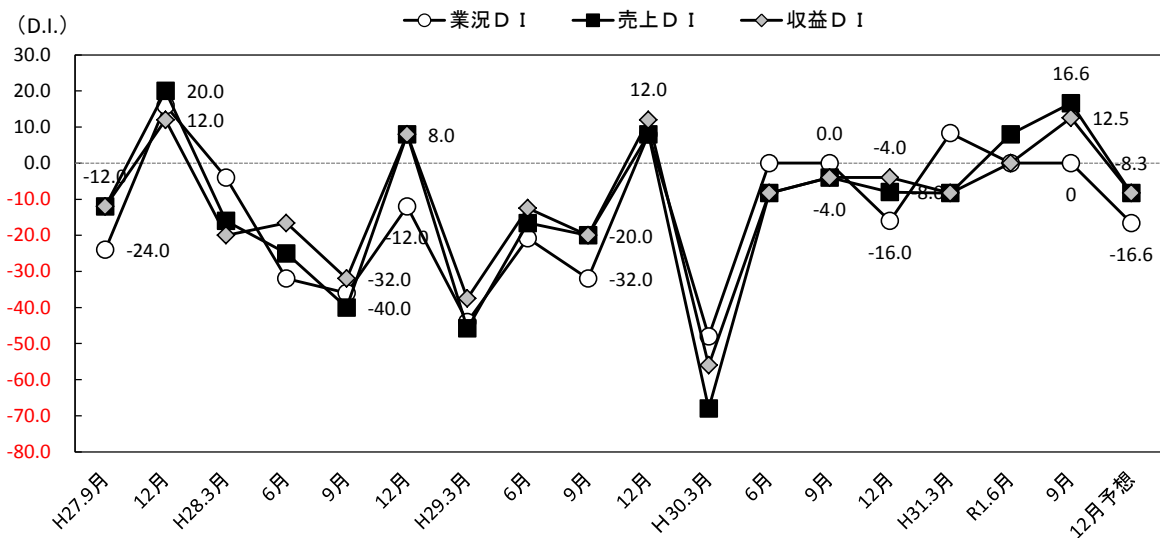
全域における業況DIは0.0となり、前期と同水準、前年同期と同水準となっています。売上DIは16.6となり、前期比8.6ポイント上昇、前年同期比20.6ポイント上昇となっています。収益DIは12.5となり、前期比12.5ポイント上昇、前年同期比16.5ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期と同水準、前年同期比11.1ポイント下降、大分地区が▲10.0となり、前期比10.0ポイント下降、前年同期と同水準、県北地区が20.0となり、前期比20.0ポイント上昇、前年同期比20.0ポイント上昇となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲16.6となり、今期比16.6ポイント下降となっています。売上予想DIは▲8.3となり、今期比24.9ポイント下降となっています。収益予想DIは▲8.3となり、今期比20.8ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲22.2、大分地区が▲10.0、県北地区が▲20.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	8.5%
同業者間の競争激化	19.1%
利幅縮小	10.6%
人手不足	8.5%
取引先減少	8.5%

最重要経営施策

経費節減	10.5%
販路拡大	36.8%
情報力強化	10.5%
品揃えの充実化	13.1%
人材確保	13.1%

経営者のみなさまの主なコメント

- 特段の変化なく増税についてもあまり影響はない予想。(土産品)
- 増税後の影響を心配している。(内装材料全般)
- 消費税率引き上げの対策はできている。しかし来年の3月ごろまでは売上減少の見通しである。(建築材料)
- 業況に変化なし。代表者および従業員が高齢化しており、今後事業承継が課題。(青果物卸売)
- 仕入れ価格の上昇により収益面で減少傾向にある。今後、販路拡大・経費節減に努めていく。(木材販売)
- 運送料値上げに伴い、商品販売価格を引き上げた。(日用品卸)

サービス業

● 当期(7月～9月)の景況

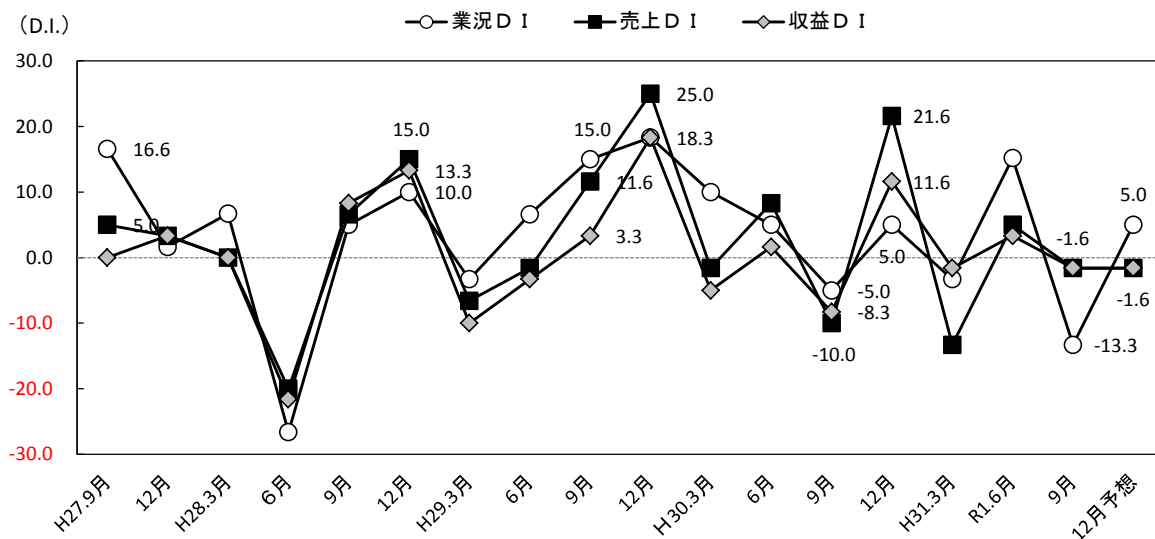
全域における業況DIは▲13.3となり、前期比28.5ポイント下降、前年同期比8.3ポイント下降となっています。売上DIは▲1.6となり、前期比6.6ポイント下降、前年同期比8.4ポイント上昇となっています。収益DIは▲1.6となり、前期比4.9ポイント下降、前年同期比6.7ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲28.5となり、前期比46.3ポイント下降、前年同期比14.3ポイント下降、大分地区が0.0となり、前期比14.2ポイント下降、前年同期比3.5ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期と同水準、前年同期と同水準となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは5.0となり、今期比18.3ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲1.6となり、今期と同水準となっています。収益予想DIは▲1.6となり、今期と同水準となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲10.7、大分地区が17.8、県北地区が25.0となっています。



経営上の問題点

同業者間の競争激化	15.5%
人手不足	17.2%
売上停滞・減少	13.1%
利幅縮小	3.2%
材料価格の上昇	4.9%

最重要経営施策

販路拡大	20.8%
経費節減	12.5%
人材確保	14.1%
店舗・設備改装	10.0%
宣伝・広告強化	10.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- 消費税率引き上げに伴い補助金を受けてレジの入替をした。増税による今後の影響を心配している。(菓子製造業)
- 消費税率引き上げに伴う観光施設の入園料値上げは実施しない予定である。(観光施設)
- 天候不順に加え、貿易摩擦による集客難が大打撃となっている。(ホテル)
- 地域の平均年齢がかなり高くなっていること、人口の減少に伴い顧客減少となってきている。(理髪サービス)
- 自然災害の影響で仕入値が上がった。(飲食店)
- 災害等による影響は、特になかった。(介護)
- 増税にともない全体的に価格が高くなった印象がつかうのは好ましくないと考えている。(うどん・そば店)
- 今後の料金設定については、仕入れ価格次第と考える。(クリーニング)
- 8月末に雨天が続いているため売上が少し下がっている。9月以降は少し売上が回復する見通しである。(クリーニング)

建設業

● 当期(7月～9月)の景況

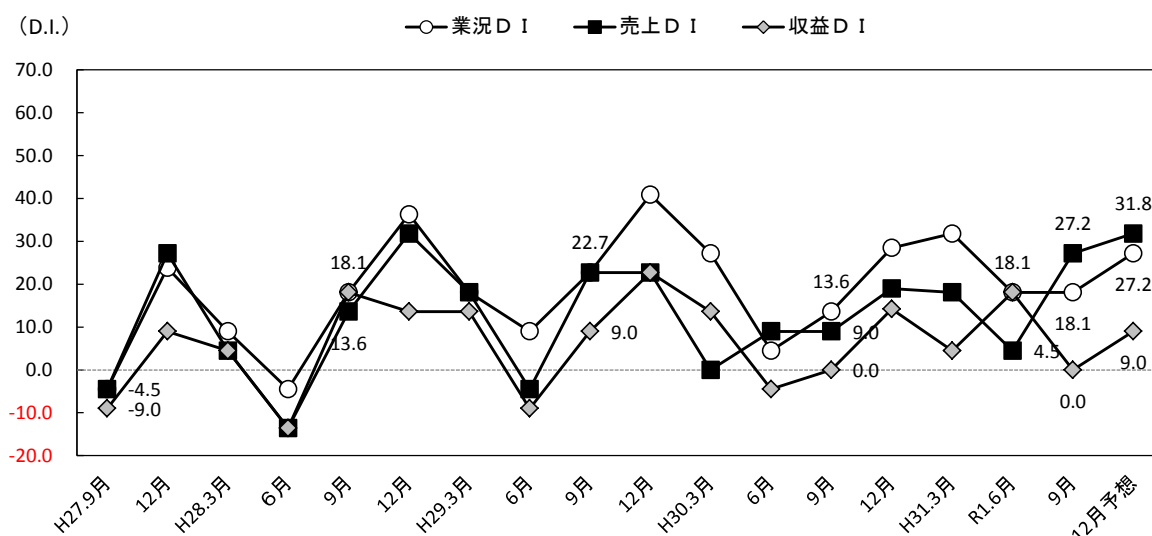
全域における業況DIは18.1となり、前期と同水準、前年同期比4.5ポイント上昇となっています。売上DIは27.2となり、前期比22.7ポイント上昇、前年同期比18.2ポイント上昇となっています。収益DIは0.0となり、前期比18.1ポイント下降、前年同期と同水準となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が60.0となり、前期と同水準、前年同期比20.0ポイント上昇、大分地区が22.2となり、前期と同水準、前年同期比22.2ポイント上昇、県北地区が▲12.5となり、前期と同水準、前年同期比25.0ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは27.2となり、今期比9.1ポイント上昇となっています。売上予想DIは31.8となり、今期比4.6ポイント上昇となっています。収益予想DIは9.0ポイントとなり、今期比9.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が40.0、大分地区が44.4、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	21.5%
同業者間の競争激化	11.7%
下請の確保難	7.8%
売上停滞・減少	9.8%
材料価格の上昇	9.8%

最重要経営施策

人材確保	27.6%
経費節減	19.1%
技術力向上	10.6%
情報力強化	10.6%
販路拡大	17.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- 業況は堅調に推移している。リフォーム事業への参入を検討している。(木造建築工事業)
- 受注は増加している。(建設業)
- 目前に迫ってきている消費税率引き上げに対して不安がある。販売価格の見直しを行い、少しでも影響を減らせるよう努める。(建設業)

不 動 産 業

● 当期(7月～9月)の景況

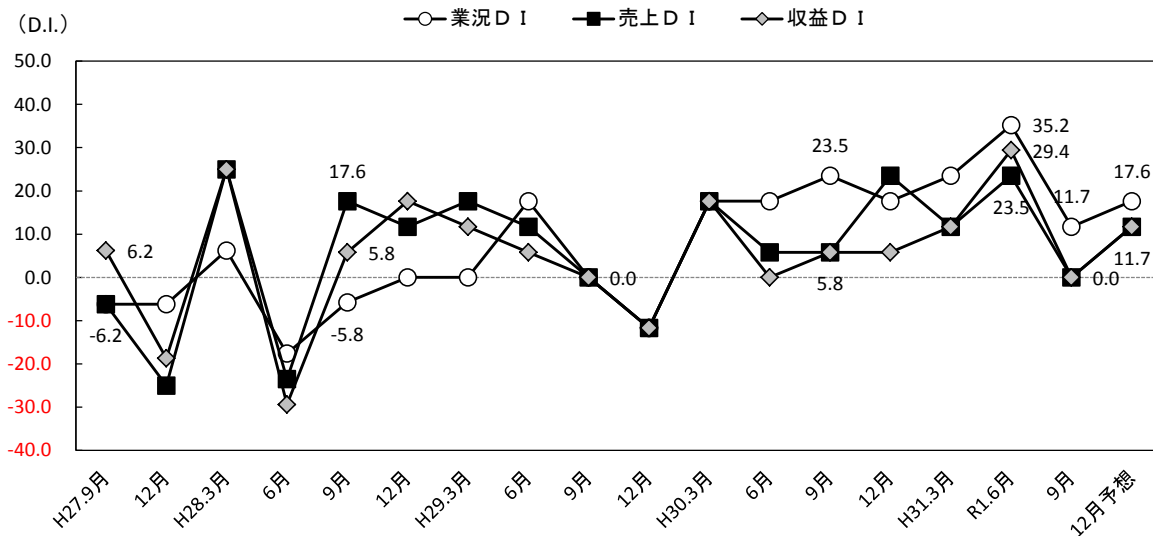
全域における業況DIは11.7となり、前期比23.5ポイント下降、前年同期比11.8ポイント下降となっています。売上DIは0.0となり、前期比23.5ポイント下降、前年同期比5.8ポイント下降となっています。収益DIは0.0となり、前期比29.4ポイント下降、前年同期比5.8ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比57.1ポイント下降、前年同期比14.2ポイント下降、大分地区が16.6となり、前期と同水準、前年同期比33.4ポイント下降、県北地区が25.0となり、前期と同水準、前年同期比25.0ポイント上昇となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは17.6となり、今期比5.9ポイント上昇となっています。売上予想DIは11.7となり、今期比11.7ポイント上昇となっています。収益予想DIは11.7となり、今期比11.7ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が14.2、大分地区が33.3、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	23.0%
商品物件不足	19.2%
大手企業との競争激化	3.8%
問題なし	7.6%
売上停滞・減少	11.5%

最重要経営施策

情報力強化	20.6%
宣伝・広告強化	20.6%
経費節減	13.7%
販路拡大	27.5%
特になし	6.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 増税の影響は少ないと予想している。(不動産仲介業)
- 今期は増収増益の見通し。(建売住宅販売)
- 仲介物件については別府市全般に過剰気味であり、収益物件については絶対数が不足している。(不動産業)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	7月～9月実績	△ 7.5	△ 19.3	△ 13.5	0.0	△ 13.3	18.1	11.7
	10月～12月予想	△ 0.9	0.0	△ 16.9	△ 16.6	5.0	27.2	17.6
売 上	7月～9月実績	0.9	△ 19.3	△ 1.6	16.6	△ 1.6	27.2	0.0
	10月～12月予想	0.9	13.7	△ 13.3	△ 8.3	△ 1.6	31.8	11.7
受 注 残	7月～9月実績	0.0	△ 9.6	***	***	***	13.6	***
	10月～12月予想	19.2	6.6	***	***	***	36.3	***
施工高	7月～9月実績	18.2	***	***	***	***	18.1	***
	10月～12月予想	40.9	***	***	***	***	40.9	***
収 益	7月～9月実績	△ 2.3	△ 6.4	△ 8.3	12.5	△ 1.6	0.0	0.0
	10月～12月予想	1.4	30.0	△ 11.6	△ 8.3	△ 1.6	9.0	11.7
販売価格	7月～9月実績	2.8	9.6	△ 3.3	0.0	0.0	13.6	11.7
	10月～12月予想	10.6	16.6	8.3	△ 4.1	11.1	27.2	5.8
仕入価格	7月～9月実績	14.5	19.3	13.3	8.3	8.3	27.2	23.5
	10月～12月予想	18.8	36.6	20.0	8.3	8.3	36.3	11.7
在庫	7月～9月実績	1.3	△ 6.4	1.6	4.1	***	0.0	11.7
	10月～12月予想	1.3	3.3	△ 1.6	0.0	***	0.0	11.7
資金繰り	7月～9月実績	△ 14.0	△ 16.1	△ 20.0	△ 8.3	△ 18.3	0.0	0.0
	10月～12月予想	△ 11.3	△ 16.6	△ 15.0	△ 8.3	△ 13.3	0.0	0.0
残業時間	7月～9月実績	△ 3.3	△ 22.5	△ 1.6	8.3	△ 5.0	4.5	5.8
	10月～12月予想	△ 2.8	△ 16.6	△ 3.3	0.0	△ 3.3	9.0	5.8
人手状況	7月～9月実績	△ 23.4	△ 16.1	△ 18.3	△ 12.5	△ 31.6	△ 36.3	△ 23.5
	10月～12月予想	△ 25.4	△ 16.6	△ 20.0	△ 16.6	△ 31.6	△ 45.4	△ 23.5

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	7月～9月実績	△ 16.7	△ 43.7	△ 12.0	0.0	△ 28.5	60.0	0.0
	10月～12月予想	△ 10.1	△ 6.6	△ 24.0	△ 22.2	△ 10.7	40.0	14.2
売 上	7月～9月実績	△ 5.6	△ 43.7	7.6	44.4	△ 22.2	60.0	△ 14.2
	10月～12月予想	△ 6.7	13.3	△ 26.9	0.0	△ 17.8	60.0	14.2
受 注 残	7月～9月実績	△ 9.5	△ 25.0	***	***	***	40.0	***
	10月～12月予想	15.0	0.0	***	***	***	60.0	***
施工高	7月～9月実績	60.0	***	***	***	***	60.0	***
	10月～12月予想	80.0	***	***	***	***	80.0	***
収 益	7月～9月実績	△ 4.4	△ 31.2	11.5	44.4	△ 21.4	20.0	△ 14.2
	10月～12月予想	△ 2.2	33.3	△ 19.2	0.0	△ 17.8	40.0	14.2
販売価格	7月～9月実績	0.0	6.2	△ 7.6	△ 11.1	△ 3.5	20.0	28.5
	10月～12月予想	8.9	13.3	15.3	0.0	0.0	20.0	14.2
仕入価格	7月～9月実績	9.9	12.5	7.6	△ 11.1	10.7	40.0	14.2
	10月～12月予想	20.0	26.6	26.9	0.0	14.2	40.0	14.2
在庫	7月～9月実績	1.6	△ 6.2	0.0	11.1	***	0.0	14.2
	10月～12月予想	0.0	6.6	△ 7.6	0.0	***	0.0	14.2
資金繰り	7月～9月実績	△ 22.0	△ 25.0	△ 30.7	△ 11.1	△ 28.5	20.0	0.0
	10月～12月予想	△ 18.9	△ 20.0	△ 26.9	△ 11.1	△ 25.0	20.0	0.0
残業時間	7月～9月実績	△ 3.3	△ 6.2	0.0	0.0	△ 7.1	0.0	0.0
	10月～12月予想	△ 5.6	△ 6.6	△ 7.6	△ 11.1	△ 3.5	0.0	0.0
人手状況	7月～9月実績	△ 18.7	0.0	△ 19.2	0.0	△ 32.1	△ 40.0	△ 14.2
	10月～12月予想	△ 18.9	△ 6.6	△ 11.5	0.0	△ 35.7	△ 40.0	△ 14.2

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	7月～9月実績	△ 2.4	0.0	△ 15.3	△ 10.0	0.0	22.2	16.6
	10月～12月予想	8.3	△ 20.0	△ 7.6	△ 10.0	17.8	44.4	33.3
売 上	7月～9月実績	7.1	△ 20.0	△ 7.6	0.0	17.8	33.3	16.6
	10月～12月予想	6.0	△ 25.0	△ 3.8	△ 10.0	14.2	33.3	16.6
受 注 残	7月～9月実績	0.0	△ 20.0	***	***	***	11.1	***
	10月～12月予想	28.6	0.0	***	***	***	44.4	***
施工高	7月～9月実績	22.2	***	***	***	***	22.2	***
	10月～12月予想	44.4	***	***	***	***	44.4	***
収 益	7月～9月実績	△ 1.2	20.0	△ 26.9	△ 10.0	17.8	0.0	16.6
	10月～12月予想	3.6	20.0	△ 7.6	△ 10.0	10.7	11.1	16.6
販売価格	7月～9月実績	3.6	20.0	0.0	0.0	3.5	11.1	0.0
	10月～12月予想	3.5	20.0	3.8	△ 10.0	0.0	22.2	0.0
仕入価格	7月～9月実績	13.1	20.0	11.5	20.0	3.5	22.2	33.3
	10月～12月予想	13.1	40.0	15.3	10.0	0.0	33.3	16.6
在庫	7月～9月実績	1.7	0.0	3.8	0.0	***	0.0	0.0
	10月～12月予想	1.8	0.0	3.8	0.0	***	0.0	0.0
資金繰り	7月～9月実績	△ 10.7	△ 20.0	△ 11.5	△ 20.0	△ 10.7	0.0	0.0
	10月～12月予想	△ 7.1	△ 40.0	△ 3.8	△ 20.0	△ 3.5	0.0	0.0
残業時間	7月～9月実績	△ 1.2	△ 20.0	△ 3.8	10.0	△ 3.5	0.0	16.6
	10月～12月予想	1.3	△ 20.0	0.0	20.0	△ 3.5	11.1	16.6
人手状況	7月～9月実績	△ 27.4	△ 60.0	△ 11.5	△ 20.0	△ 35.7	△ 33.3	△ 33.3
	10月～12月予想	△ 32.1	△ 60.0	△ 23.0	△ 30.0	△ 32.1	△ 44.4	△ 33.3

県北地区

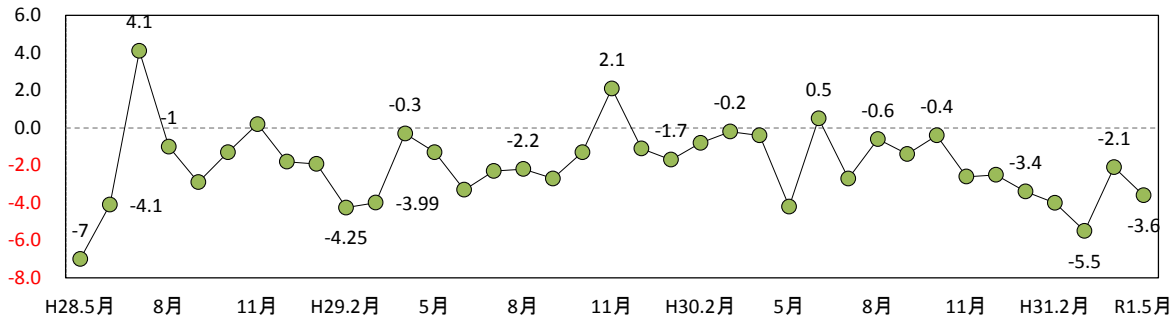
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	7月～9月実績	2.6	10.0	△ 12.5	20.0	0.0	△ 12.5	25.0
	10月～12月予想	0.0	20.0	△ 25.0	△ 20.0	25.0	0.0	0.0
売 上	7月～9月実績	2.6	20.0	△ 12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	10月～12月予想	7.7	30.0	0.0	△ 20.0	0.0	12.5	0.0
受 注 残	7月～9月実績	11.1	20.0	***	***	***	0.0	***
	10月～12月予想	16.7	20.0	***	***	***	12.5	***
施工高	7月～9月実績	△ 12.5	***	***	***	***	△ 12.5	***
	10月～12月予想	12.5	***	***	***	***	12.5	***
収 益	7月～9月実績	0.0	20.0	△ 12.5	0.0	0.0	△ 12.5	0.0
	10月～12月予想	5.1	30.0	0.0	△ 20.0	25.0	△ 12.5	0.0
販売価格	7月～9月実績	7.7	10.0	0.0	20.0	0.0	12.5	0.0
	10月～12月予想	12.8	20.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0
仕入価格	7月～9月実績	28.2	30.0	37.5	20.0	25.0	25.0	25.0
	10月～12月予想	28.2	50.0	12.5	20.0	25.0	37.5	0.0
在庫	7月～9月実績	0.0	△ 10.0	0.0	0.0	***	0.0	25.0
	10月～12月予想	2.9	0.0	0.0	0.0	***	0.0	25.0
資金繰り	7月～9月実績	△ 2.6	0.0	△ 12.5	20.0	0.0	△ 12.5	0.0
	10月～12月予想	△ 2.6	0.0	△ 12.5	20.0	0.0	△ 12.5	0.0
残業時間	7月～9月実績	△ 7.7	△ 50.0	0.0	20.0	0.0	12.5	0.0
	10月～12月予想	△ 7.7	△ 30.0	0.0	△ 20.0	0.0	12.5	0.0
人手状況	7月～9月実績	△ 25.6	△ 20.0	△ 37.5	△ 20.0	0.0	△ 37.5	△ 25.0
	10月～12月予想	△ 25.6	△ 10.0	△ 37.5	△ 20.0	0.0	△ 50.0	△ 25.0

県内大型小売店販売額

令和元年5月の大型小売店販売額は78億円で、前年同月比3.6ポイント下降となっています。品目別では、衣料品が前年同月比5.1ポイント下降、飲食料品が3.0ポイント下降、その他の商品が3.1ポイント下降となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前:経済産業省)

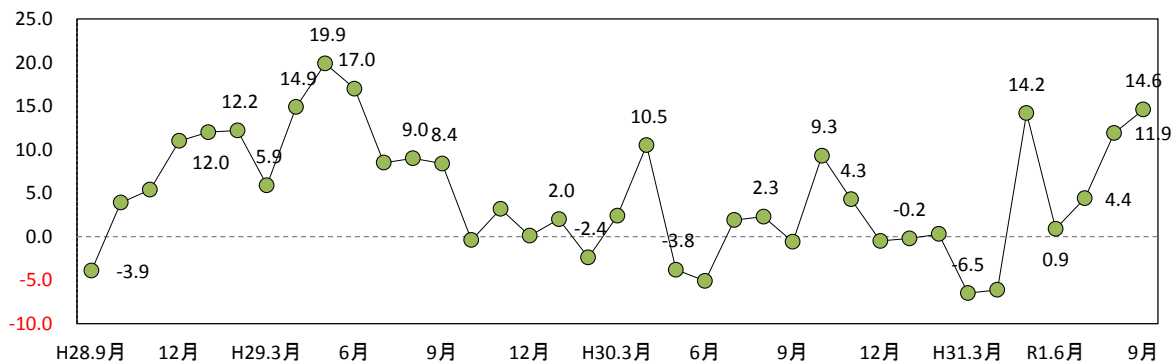


県内新車販売台数

令和元年9月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は5,707台で前年同月を14.6%上回りました。車種別では、普通乗用車が1,485台で前年同月比23.3%増、小型乗用車が1,139台で前年同月比9.8%増となりました。また、軽四輪車の合計は2,721台で前年同月比13.9%増となりました。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

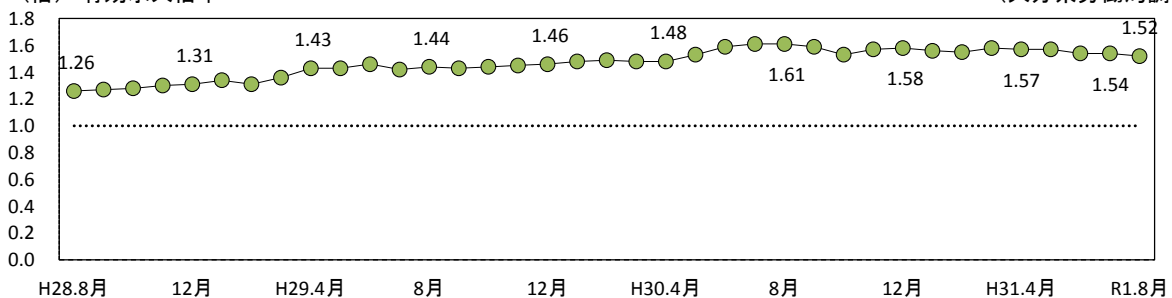


県内有効求人倍率

令和元年8月の有効求人倍率は、前月を0.02ポイント下回る1.52倍となりました。地域別でみると、大分管内1.75倍(前月比+0.02ポイント)、別府管内1.16倍(前月比▲0.05ポイント)、中津管内1.50倍(前月比+0.01ポイント)と高水準を維持しております。

(倍) 有効求人倍率

(大分県労働局調)

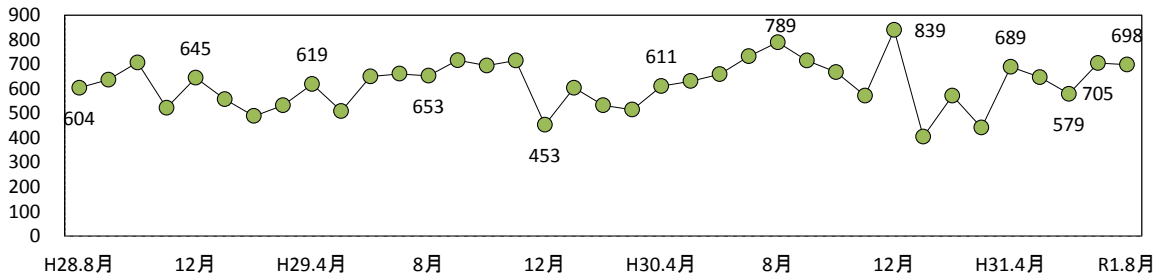


県内新設住宅着工戸数

令和元年8月の住宅着工戸数は698戸でした。そのうち、持家は265戸、貸家は221戸、分譲住宅は151戸となっています。

(戸) 大分県新設住宅着工戸数

(国土交通省調)



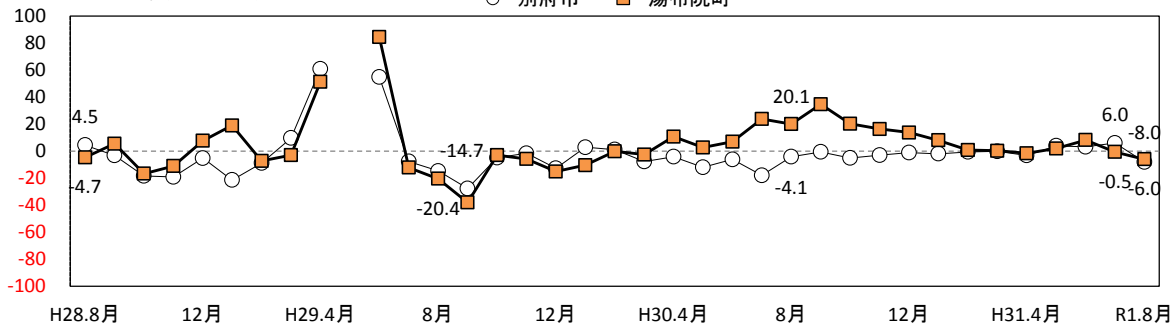
観光動向

令和元年8月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で8.0ポイントの下降、湯布院地区で6.0ポイントの下降となりました。
※宿泊人員(前年同月比)の折れ線グラフでは、29年5月のデータを省略しております(28年5月は震災の影響により宿泊人員が大幅に落ち込んだため)。令和元年8月の前年同月比宿泊人員データは、別府地区91.7%、湯布院地区94.0%となっております。

(%) 宿泊人員(前年同月比)

○別府市 □湯布院町

(当金庫調)



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、令和元年8月の県内の企業倒産件数は3件で43百万円でした。令和元年の累計は29件5,861百万円となっています。

(百万円) 企業倒産

金額 件数

